

## 支部長退任のご挨拶

前 I G S 日本支部支部長 三木 博史

思い返せば、2006年9月に開催された横浜会議は、日本支部の総力を挙げて取り組んだ一大行事でした。この会議で龍岡先生が I G S 会長に選ばれ、先生の後を継ぐ形で 2007年1月からの12年間、支部長を務めさせていただきました。私事ながら、ちょうどこの期間は、2006年10月に土木研究所を退職して独立した期間と重なり、それまでの立場を生かした貢献が思うようにできなくなったにもかかわらず、曲がりなりにもこの大役を務められたのは、ひとえに幹事会・事務局と会員の皆様のお蔭です。

副支部長（兼、事務局）、元 I G S 本部の理事として日本支部の活動を支えていただいている桑野先生、目配り・気配りの行き届いた幹事長の平井様、ずっと財務をみていただいている伊藤様、お忙しいなか I G S 本部との国際連絡をご担当いただいている龍岡先生と理事の古関先生と勝見先生、各種委員会活動を通じて、技術情報の編集・出版、シンポジウムの開催、論文集の印刷、表彰、ホームページの更新、論文集・技術情報誌の電子化と公開、多岐にわたる現場の問題解決に貢献する技術委員会、基準化、コーポレートメンバーの活性化、学生・教育活動などの支部活動に取り組んでおられる皆様、そしてなにより成熟期を迎えたジオシンセティックスの新しい応用分野を弛まらずに切り開いておられる会員の皆様のご努力に、心よりの敬意を表し、感謝申し上げます。

このように高い技術レベル（質）が確保できているのは、日本支部の素晴らしい「人財」のお蔭とつくづく感じます。桑野新支部長のもと、この人財を結集し、さらに新しい人財を発掘して育てていただくよう願っております。

最後になりますが、これまでの「支部長からのメッセージ」で発信しましたように、世の中はこれから大きく転換し、世界中で「すみわけ」を目指して、「持続可能な地域循環社会」の「立て直し」が始まります。世界のなかで果たすべき日本や日本人の役割も、これまで以上に大きくなります。私個人としても、2006年の独立にあたり横浜会議で福岡正巳大先生から40年計画でやるよう薫陶を受けたとおり、できるだけ大きな構想を描き一歩ずつ検証しながら、頂上を目指してまいります（ようやく3合目です）。皆様におかれましても、それぞれのお立場で、本当の自分が満足できる道を探究しながら、生き生きと日々を過ごしていかれますよう、心より祈念して、退任のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。これからもお付き合いのほど、どうぞよろしく願いいたします。